

〔内服を忘れた場合〕

内服を忘れた場合、時間のずれが4時間以内の場合には内服をしてください。

それ以上時間が経過した場合には内服しないでください。

2回分をまとめて内服することは肝臓に負担がかかって危険なので行わないでください。

免疫抑制剤やその他のお薬は患者さんの体調や、肝臓の状態に合わせて処方しています。指示どおりに飲めない場合や、飲み忘れは拒絶反応が出やすくなったり、肝臓に負担がかかる原因になります。自己判断で中止したり、飲み忘れをしないようにしましょう。

★外来での処方院外処方となるため自宅近くの処方箋薬局に事前にお薬の調剤が可能かどうか確認しましょう。

★基本的に処方薬を推奨しております。市販薬の使用は控えていただくことをお勧めします。

⑤日常生活における諸注意

計測

拒絶反応や感染症、薬の副作用についてできるだけ早く発見できるように体温(1日2回)、尿や便の状態(回数、量、色)について観察をするようにしましょう。

規則正しい生活

身心共に健全な成長・発達を遂げるために、健康な環境を作ることが大切です。

そのためには、1日の生活リズムを正しく保つことを心がけてください。

たとえば、「朝寝坊や夜更かしをしない」「学校生活が始まるまでには散歩をして体力をつけたり、勉強の時間をつくる」「食事の時間やお風呂の時間、テレビを見る時間をきめる」など1日の生活リズムをつけるようにしましょう。毎食後の歯磨き、決まった時間に薬を飲むこと、外での運動は決して無理をさせない、帰宅したら手洗い・うがいを励行する、などが大切です。

ご家族みんなで規則正しい生活をするように、こころがけましょう。

⑥感染予防

移植された肝臓への拒絶反応を防ぐために、免疫系を抑制する薬を服用するため感染を受けやすい状態になっています。「手洗い・うがい」を励行することが大切です。



「外から帰ったとき」「食事前」など患者さんだけではなく、家族全員が一緒に行うことが大事です。お友達や訪問者にも一緒に行ってもらいましょう。

特に人混みや、感染症が流行しているときはマスクをし、手洗い・うがいをしっかり行いましょう。家にこもらず、徐々に普通の生活に戻していきましょう。

⑦外出

退院後は病院にいた頃と比べて、体力がなく疲れやすくなったように感じるかもしれませんが、体力は徐々についてくるものなので心配しないでください。

徐々に散歩などをとりいれて様子を見ながら少しずつ行動範囲を広げてください。

退院後しばらくは人混みを避けましょう。近所の公園やスーパーのお買い物など、ご家族と一緒にいくなど、人の少ない時間帯から少しずつ始めましょう。

個人差もありますが、術後、3ヶ月経って胆管ドレーンが抜去され、本人が元気だったら、通常の外出は可能です。遠出や人の多い場所へのお出かけは季節的なものにもよりますが、術後6ヶ月過ぎた頃から始めましょう。